



北陸銀行 — 地域密着型金融の具体的な取り組み

1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	具体的な取り組み
創業、新事業支援	・産学連携相談シートを活用し、共同研究開始に向け詳細なテーマを擦り合わせ中 ・産学官との連携を通じた技術移転支援:各種新技術発表会(説明会)を後援
経営改善支援	・ビジパセミナー、グローバルセミナー、インフォーマットセミナー等各種相談会の開催 およびコンサルティング機能の発揮による事業支援
事業再生	・企業支援タスクフォースを中心とした経営改善計画の策定支援、事業再生ファンドの活用、中小企業支援協議会等と協調した事業再生支援への取組強化
事業承継	・プライベートバンキング機能の活用をはじめとしたコンサルティング機能を発揮した事業承継支援

【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
債務者区分ランクアップ件数	60件	42件	60件

2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	具体的な取り組み
担保、個人保証に依存しない融資の推進	・債権流動化プログラムの活用、「営業車担保ローン」・「機械担保融資保証制度」等による動産、債権譲渡担保付き融資の取り組み
企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み	・融資部トレイニー、融資判断力養成研修をはじめとした行内外の研修を通じた人材の育成

【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
債権流動化、動産・債権譲渡担保付き融資実績	10件	42件	40件
研修受講者数(融資審査関連)	300人	344人	350人

3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	具体的な取り組み
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生への取り組み	・グループの北海道銀行、あるいはシステム共同化を行う横浜銀行や業務提携を行う大垣共立銀行等との広域連携による顧客僚店貢献運動、ビジネスマッチングへの取組強化 ・ビジネスサミットをはじめとする商談会等の開催 ・地方公共団体との連携を密にしたPFI、ものづくり支援等の地域振興施策への積極的参加
地域活性化につながる多様なサービスの提供	・寄付講座、次世代経営者養成講座、小中学生向け金融教育等への講師派遣等を通じた地域を担う若い世代への金融知識の普及

【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
「顧客僚店貢献運動」取組件数	24,000件	30,514件	30,000件
各種研修講師派遣	150件	175件	150件



北海道銀行 ―― 地域密着型金融の具体的な取り組み

1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	具体的な取り組み
創業、新事業支援	・ベンチャー向けファンド(どさんこファンド)を活用した創業、新規事業者への投資 ・産学官との連携等を通じた技術移転等による支援
経営改善支援	・道銀・経営塾、ものづくり講習会等の開催など各種相談会、セミナーの開催およびコンサルティング機能の発揮による事業支援
事業再生	・外部機関との連携によるコンサル相談会の開催など経営改善計画の策定支援、中小企業支援協議会などと協調した事業再生支援への取組強化
事業承継	・プライベートバンキング機能の活用をはじめとしたコンサルティング機能を発揮した事業承継支援

【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
ベンチャー向け投資実績	10件/300百万円	10件/396百万円	10件/300百万円
債務者区分ランクアップ件数	60件	55件	40件

2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	具体的な取り組み
担保、個人保証に依存しない融資の推進	・債権流動化プログラムの活用、動産、売掛債権、債権譲渡担保付き融資への取り組み
企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み	・業種別審査の拡大・細分化と業種別研修会の実施による審査能力の向上 ・若手・中堅・役員者向け階層別研修会の実施による人材の育成

【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
スコアリングモデルを活用した融資実績	700件 5,500百万円	914件 7,143百万円	900件 7,000百万円
債権流動化、 動産・債権譲渡担保付き融資実績	5,000百万円	13,931百万円	15,000百万円
研修受講者数(融資審査関連)	370人	377人	300人

3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	具体的な取り組み
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生への取り組み	・グループの北陸銀行、あるいはシステム共同化を行う横浜銀行など広域連携によるビジネスマッチングへの取組強化 ・グループの海外ネットワーク(中国、シンガポール、米国)を活用した情報提供 ・北海道ビジネスフォーラム、北海道「食」の特別商談会等の商談会等の開催 ・道銀アグリパートナーズ等の活用、PFI、ものづくり支援等の地域振興施策への積極的参加
地域活性化につながる多様なサービスの提供	・道内大学等への講師派遣、小学生向け企画への参加(こどものまちなみさっぽろ等)などを通じた地域を担う若い世代への金融知識の普及

【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
ビジネスマッチング取組件数	800件	993件	600件

北陸銀行 — 個人のお客さまのために

北陸銀行では、個人のお客さまの幅広いニーズにお応えするために、新しい商品の開発・さまざまなサービスの充実を図っております。

個人預かり資産

北陸銀行では、お客さまの保有資産の状況、投資方針にあった運用のご提案ができるよう営業店にファイナンシャルプランナー資格者を配置し、幅広い商品ラインアップをご用意しております。お客さまの資産運用ニーズには、各地で開催いたしております資産運用セミナーにおいて最新の情報をご提供しておりますほか、個別のご相談には時間をかけてお伺いし、商品について丁寧に説明いたしております。また、お客さまがゆったりとご相談いただける資産運用とローンプラザの複合専門店舗「ほくぎんドリームセンター武蔵」を設置するなど、お客さまとの接点を拡充し、より便利にご利用いただけるよう努めております。

■ 投資型金融商品の状況



決済サービスのご利用状況

年金振込は24万9千先、給与振込は48万先、公共料金の自動口座振替は115万2千先と多くのお客さまに家計のメイン口座として北陸銀行をご利用いただいております。

■ 決済サービスのご利用状況の推移



ドリームセンター武蔵での資産運用セミナー

個人ローン

個人ローンにつきましては、全国53カ所（うち休日営業28カ所）のほくぎんローンプラザを中心に休日・夜間ローン相談会の開催など、お客さまにより気軽に、便利にご利用いただけるよう販売体制の充実を心がけております。また、ほくぎんローンプラザでは経験豊富な専門スタッフによるきめ細かなアドバイス、スムーズなお申し込みがお客さまから大変ご好評をいただいております。

■ 個人ローンの状況



(注) 住宅系ローンには、アパートローンを含む

ほくぎんダイレクトA(エース)

ご自宅のパソコンや携帯電話を利用して、銀行取引が行えるサービスです。サービス内容は振込・振替・残高照会などで、パソコンからは定期預金の作成、公共料金口座振替そして住所変更もご利用できます。また、Pay-easy(ペイジー)マークが記載されている納付書等について税金・各種料金の払い込みが、パソコン・携帯電話で簡単にご利用できます。原則として24時間ご利用が可能で、約11万5千先のお客さまにご利用いただいております。

また、スパイウェアからパスワードを守る「ソフトウェアキーボード機能」や「ワンタイムパスワードによる本人認証」、「IBロック機能」そして「ログインID変更機能」など強力なセキュリティにより、安心してインターネットバンキングをご利用いただけます。



北陸銀行 — 中小企業のお客さまのために

地元企業の皆さまに、最適な金融サービス機能を提供するとともに、情報提供やアドバイス機能を強化し、真のビジネスパートナーとしての存在価値を従来以上に高めてまいります。

最適な総合金融サービスの提供

お取引先では、シンジケートローン、M&A、確定拠出年金、デリバティブ、債権流動化、プライベートバンキングなど、高度な金融サービスへのニーズが高まっております。北陸銀行では、お取引先が抱える財務上の経営課題が多様化、高度化するにあわせ、コンサルティング能力を持つ専門性の高い人材を金融サービス室に集め、地区事業部との連携を通じて最適な金融サービスの提供に努めております。

ビジネスマッチングの取り組み

【地方銀行フードセレクション2008】

平成19年11月14日に、北陸銀行は、北海道銀行など地方銀行7行と東京国際フォーラムで合同商談会「フードセレクション2007」を開催しました。当日は大手スーパーや百貨店、外食産業の担当者など約7,000人がバイヤーとして訪れ、北陸銀行のお取引先24社を含む208社が地元の食材を売り込む活発な商談が行われました。

【ビジネス・サミット2008】

平成19年の「食」をテーマとした商談会（5月に名古屋、9月に金沢で開催）に引き続き、平成20年は「健康」をテーマとして、6月4日に名古屋国際会議場において、大垣共立銀行との共催で商談会「ビジネスサミット2008」を実施しました。

当日は予想を超える約2,500人が来場し、体に良い「食品」や健康関連商品の小売など149社が設けた出店ブースに260社の営業担当者が集まり、約800件の活発な商談が行われ健康ビジネスへの関心の高さが窺えました。



海外ビジネスへの支援強化

中国・ASEANでは、北陸からの企業進出が盛んになっております。北陸銀行では上海およびシンガポールに10年以上にわたって駐在員事務所を置いておりますほか、北海道銀行の瀋陽駐在員事務所や富山県大連事務所（北陸銀行から人員を派遣）、札幌市北京事務所（北海道銀行から人員を派遣）の駐在員と連携し、現地情報の収集・還元や企業進出支援などを行っております。

【ビジネスサポート体制の充実】

中国とのビジネスを行っているお取引先企業の組織「ほくりく長城会」、現地お取引先を組織化した「上海長城会」「ほくりくASEAN会」を運営し、各種セミナーやお客さまの情報交換の場を提供しております。また、営業の第一線でよりの確で迅速な海外ビジネス支援を行うため、56店舗に海外ビ



イスラム金融セミナー

ジネスの相談に応じる「グローバルデスク（グローバル+ローカル：世界的視野で考え地域に根ざした活動）」を設置しております。

【物産セレクション2008 in TOYAMA】

平成20年7月の東海北陸自動車道の全線開通を控え、3月22日、23日の両日、北陸3県と岐阜県の特産品や郷土芸能を紹介し地域の魅力を発信するイベント「東海北陸地方交流 物産セレクション2008 in TOYAMA」を富山市総曲輪のグランドプラザにおいて開催しました。「物産セレクション」は北陸銀行の創業130周年記念事業の一環として開催され、沿線の自治体や企業が約60のブースを設け、特産品の販売や観光PRを行うなど多彩な催しを繰り広げ、大勢の来場者で賑わいました。



北陸銀行 ―― 地域密着型金融の具体的な取り組み

北陸銀行は、地域密着型金融の本質である「地域とともに生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまとともに歩み、成長・発展することを目指します。

創業・新事業支援

北陸銀行では、グループ企業の北陸キャピタル・北銀リース、北陸三県有数の地域シンクタンクである北陸経済研究所と連携し、地域の次世代産業の担い手となる産業・企業の育成に積極的に取り組んでいます。北陸キャピタルでは、地方公共団体や研究機関と連携し、株式公開・上場支援業務、社債の引受業務を通じて、地域ベンチャー企業の発掘・育成や新規事業を支援しています。また、北陸経済研究所および北銀リースとの連携により、ベンチャー企業の発展ステージに最適な支援を積極的に行っております。

経営改善支援

お取引先企業が必要とする経営等に関する情報をタイムリーに提供し、質の高いコンサルティング機能を発揮するために、各種相談会やセミナーを開催しております。

【ほくぎんビジパ倶楽部】

企業経営や経営企画・事業開発・総務人事業務など、さまざまな問題やリスクを抱えるお取引先企業の経営者向け会員制経営相談・情報サービスです。インターネットで手軽に国家資格者・専門家（弁護士・税理士・社会保険労務士など）へ経営相談していただくことができ、会員数約3,000名と多くの経営者の皆さまにご利用いただいております。

【事業承継・M&Aセミナー】

外部講師や金融サービス室コンサルティンググループのメンバーによる事業承継やM&Aセミナーを各地区で開催しております。



M&Aセミナー

【グローバルセミナー】

北陸銀行では、外国政府機関や有力外国銀行との提携など地元お取引先企業の海外進出を積極的にサポートしております。また北陸三県中心に、中国・ASEAN地域における経済動向、投資環境など経済環境に応じたテーマによるグローバルセミナーを開催しております。

不動産担保、個人保証に依存しない融資の推進

中小企業に対する不動産担保、個人保証に依存しない取引の拡充を図るため、債権流動化プログラムの活用、動産・債権譲渡担保付き融資商品の開発・推進に取り組んでおります。

各地区保証協会の流動資産担保融資制度をはじめ、売掛債権担保を活用した新しい融資制度、「営業車担保ローン」・「機械担保融資保証制度」、保証協会の流動資産担保融資保証制度による動産担保融資などの推進に積極的に取り組んでおります。

また、平成20年度は「人財力強化元年」と位置づけ、行内外の研修に積極的に行員を派遣し、企業の将来性、技術力を的確に評価できる人材育成に取り組んでおります。

ネットワーク機能を活用した情報提供

グループの北海道銀行、システム共同化を行う横浜銀行、業務提携先の大垣共立銀行や地元金融機関とも連携し、ネットワーク機能を活用したお取引先企業への情報提供に努めております。



ビジネスサミット2008in名古屋

地域活性化につながる多様なサービスの提供

金沢大学、富山大学での寄付講座、各地区での若手経営者向け「次世代経営者養成講座（ほくぎんマネジメントスクール）」、営業店長による地元小中学校での金融教育の実施など、地域の次世代を担う若い世代への教育活動を行いました。このような次世代向けの各種教育の実践は、長期的な地域活性化につながるものと考えております。



ほくぎんマネジメントスクール



北陸銀行は、明治10年の創業以来、広く社会のお役に立てるよう、地域のボランティア活動・行事等に積極的に取り組み、これからも「企業市民」として地道に社会貢献活動を続けてまいります。

財団法人 北陸銀行奨学助成財団

北陸銀行創立20周年記念事業として昭和38年に設立し、北陸三県および北海道における学校教育のより一層の発展と向上を図るため、40年以上にわたり教育用備品の寄贈や教育用設備等の充実に要する資金の補助などの事業を行ってまいりました。平成19年までの寄贈校数は延べ1,816校、寄贈額累計は4億円を超えており、高い評価をいただいております。

また、平成5年には設立30周年を記念し、富山県立近代美術館の常設展示作品を紹介する美術館ガイドブック「20世紀



パブルチューブの寄贈(こまどり養護学校)

の美術を見よう」を発刊し、毎年富山県内の中学1年生全員に無償配布し、美術教育の振興に役立てていただいております。

地域行事に積極的に参加

例年8月に開催される富山まつり「おわら踊り街流し」は、富山城址大通りで越中八尾のおわら節に合わせた多くの踊り子らがぎやかに街流しを行うまつりの中心イベントです。北陸銀行グループは、平成4年から参加し、今年で17回目になります。このような地域行事には、積極的に参加しております。



おわら踊り街流し

財団法人 北陸経済研究所

北陸銀行創業100周年記念事業として昭和53年3月に設立し、北陸三県の産業振興と地域社会の発展に資するための調査・研究や適切な情報の提供と助言を行っております。

職場体験学習などを実施

北陸銀行では、金融教育の一環として中高校生の職場体験学習や銀行業務見学を受け入れております。また、高校生や大学生のインターンシップにも就業経験の機会をできるだけ多く持っていただけるよう、積極的に取り組んでおります。

平成19年には、50校を超える小・中学校で出前金融教育授業を実施いたしました。



銀行業務見学

新入社員セミナーの開催や講師派遣

例年4月初旬に新入社員公開セミナーを開催し、社会人としての心構えだけでなく、言葉遣いや電話対応・挨拶の仕方など、実践的なセミナーを開催し、ご好評をいただいております。また、平成17年から富山大学経済学部での寄付講座や金沢大学経済学部での共同授業などにMBA、CFPなどの資格を持つ役員を講師として派遣し、「金融の最前線の最新ノウハウ」を解説しております。

地域に開かれた企業として

平成6年から中央通り商店街活性化のため、北陸銀行本店のショーウィンドウを美術作品発表の場「ほくぎんアートプロムナード」として提供しております。16年1月から社団法人富山県芸術文化協会の企画展を開催し、多くの方々に親しんでいただいております。18年2月には、「ほくぎんアートギャラリー」を新たに開設し、「街の中のミニ美術館」として展示内容の充実を図っております。



ほくぎんアートギャラリー

北海道銀行 — 個人のお客さまのために

北海道銀行では、お客さまのライフスタイルの変化に伴う一層多様化したニーズに的確にお応えするため、新しい商品の開発ならびに既存商品のレベルアップに絶えず取り組んでおります。

個人預かり資産

お客さまの資産の運用をお手伝いするために、預金商品をはじめ、投資信託や個人年金保険等さまざまな金融商品を取り揃えております。

投資信託では、お客さまの運用目的にあった選択ができるよう、常時30種類以上の商品ラインナップをご用意しているほか、個人年金保険商品につきましても、定額年金保険、変額年金保険のほか、本年6月からはがん保険などいわゆる第3分野の保険商品の取り扱いも開始いたしました。

■ 投資型金融商品の状況



住宅ローン

札幌市内3カ所を含む道内主要都市12カ所に「住宅ローンプラザ」を開設し、ローン専門のスタッフを配置するなど、お客さまが安心してご相談いただける体制を整えております。

個別の商品といたしましては「もしも・・・」の際にご安心いただける「3大疾病・5つの重度慢性疾患保障付住宅ローン」や環境に優しい住宅の取得を応援する「道銀環境配慮型住宅ローン」なども大変ご好評をいただいております。

■ 新築系住宅ローンの取扱状況



決済サービスのご利用状況

年金振込は21万5千先、給与振込は57万1千先、公共料金の自動振替は98万1千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。

■ 決済サービスのご利用状況



道銀ダイレクトサービス

来店することなく道銀とお取引ができる道銀ダイレクトサービスは、ご利用スタイルに合わせてテレホンバンキング、インターネットバンキング、モバイルバンキングの3種類を入金・ご利用手数料無料にてご用意しております。

- ・電話を使って・・・テレホンバンキング
- ・パソコンを使って・・・インターネットバンキング
- ・モバイル端末を使って・・・モバイルバンキング

このうちインターネットバンキングは原則24時間ご利用が可能で、振込・振替、定期預金の入金・解約、公共料金口座振替・住所変更の申し込みのほか、税金・各種料金払込サービス（ペイジー）がご利用できます。また、インターネット犯罪への対策として、一度ダウンロードすると正しいウェブサイトやフィッシングサイトを自動的に検証してユーザーに通知するフィッシング詐欺対応ソフト（PHISH CUT）を平成19年3月から導入し無料でご提供しております。

インターネットバンキング
テレホンバンキング
モバイルバンキング
ようこそ

DIRECT SERVICE
道銀ダイレクトサービス
ご利用手数料は無料

サービスは3種類
1.インターネットバンキング
2.モバイルバンキング
3.テレホンバンキング



北海道銀行 — 中小企業のお客さまのために

北海道銀行では、従来の預金・融資業務に加え、中小企業の皆さまのビジネスのお役に立てるよう各種サービスの充実を図っております。

ビジネスマッチング業務

平成16年より、ビジネスマッチング業務「マッチ・グー」の取り扱いを開始いたしました。お取引先における経営課題・経営施策に関して、北海道銀行の持つ情報ネットワークを活用し適切なパートナーをご紹介します仕組みです。

【北海道ビジネスフォーラム】

北海道銀行では、お取引先のビジネスチャンス拡大を支援するため、平成11年より北海道ビジネスフォーラムを開催しています。平成19年11月5日に開催した「北海道ビジネスフォーラム2007」は『「すべてのチカラ」結集宣言～ビジネスをあなたとともに創作する大地、北海道～』をテーマに、元シャープ中央研究所副所長の和田富夫氏による基調講演のほか、3つのテーマによる講演・セミナーを開催し、のべ700名が来場されました。同時開催の「第9回北海道ビジネス交流会」では、自社製品のブランド化に成功した企業によるプレゼンテーションを盛り込むなど、北陸銀行のお取引先5社を含む74社が出展、約1,000名が参加され、活気に満ちた交流会となりました。



【スーパーマーケット・トレードショー】

平成20年2月20日から22日までの3日間、東京ビッグサイトにおいて社団法人日本セルフ・サービス協会が主催する「第42回2008スーパーマーケット・トレードショー」が開催されました。北海道銀行は、北海道の強みのひとつである「食」を全国にさらに発信するため、お取引先11社とともに本イベントに参加いたしました。また期間中、昨年9月に開催した「第4回北海道『食』の特別商談会」参加バイヤーの方々に選考いただいた「北海道の逸品」最優秀賞の表彰式が行われました。



海外ビジネス支援体制の強化

法人営業部国際業務室内に中国ロシアデスクを設置し、中国、ロシアとのビジネス、経済交流の支援を行っております。

【中国ビジネス支援】

平成18年8月、北海道銀行は中国東北地区の中心都市、遼寧省瀋陽市に駐在員事務所を開設いたしました。



瀋陽駐在員事務所は、北海道のお客さまの中国ビジネス発展のためさまざまな活動を行っております。平成20年3月には、第3回目となる「ビジネスマッチングin瀋陽」を開催、お客さまのニーズにあった中国企業への事前コンタクト等、運営全般に携わりました。



中国ビジネスを展開するお取引先企業の情報交換を目的に、北海道銀行では「ほっかいどう長城会」を設立し、平成20年3月末現在258社にご加入いただいております。平成20年2月には中国ビジネスセミナー「知っておくべき中国人事労務対策の勘所」と題する講演会を開催したほか、北陸銀行のお取引先で組織する「ほくりく長城会」、「上海長城会」とも連携し、中国ビジネスについてのさまざまな情報交換等を行っております。

北海道銀行 ―― 地域密着型金融の具体的な取り組み

北海道銀行は、北海道の強みを伸ばし弱みを克服することにより地域経済のさらなる活性化を図るため、ものづくり企業や農業事業者の支援に積極的に取り組んでおります。

ものづくり企業のご支援

北海道の産業構造は、全国平均にくらべ第二次産業の割合が小さく第一次産業の割合が高いという特徴があります。特に製造業については全国平均を大きく下回っている状況です。近年、北海道にも自動車産業を中心に企業の進出が増加してきておりますが、これらの企業の道内企業からの部品調達率は依然として低位にあり、道内「ものづくり企業」の技術力、生産性の向上は地域経済活性化に向けての大きな課題となっております。北海道銀行では、平成18年10月に新設した地域振興部を中心に、ものづくりに携わるお取引先のご支援に積極的に取り組んでおります。

【第1回「先進地視察派遣事業」の実施】

道内製造業の生産現場改善に向けた取り組みを支援するため、平成19年12月10日から3日間、モノづくり産業の先進地「愛知」への視察を実施しました。5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)・ムダとり・標準化・見える化などを実践し成長し続ける地元企業の『強い現場』を実際に見学するとともに、愛知の製造業経営者とのグループ討論や情報交換が行われました。



【道内4高専との連携協力協定締結】

平成19年12月14日、地域社会における技術開発、技術教育を支援し、新事業の創出等、地域の産業振興に寄与することを目的として、独立行政法人国立高等専門学校機構の道内4高専(函館、苫小牧、釧路、旭川)と連携協力協定を締結いたしました。北海道銀行は本協定を通じ、地域の企業と高専との橋渡し役となり、学生の地元企業における就労体験などの交流のご支援、講師の派遣等、技術力アップの後押し、共同研究の資金的援助等に取り組んでまいります。



北海道の強さを伸ばす取り組み

豊かな自然と広大な大地に恵まれた北海道の農業は、日本全国さらには世界に向けた「食」を発信する産業として大きな可能性を秘めています。北海道銀行は、農業やこれを取り巻く関連企業の皆さまの多様化するニーズにお応えするべく、地域金融機関ならではのさまざまな取り組みを行っております。

【道銀アグリパートナーズ】

北海道銀行では、道内の農業と周辺産業とのネットワーク作り、情報交換を目的とした会員組織「道銀アグリパートナーズ」を発足させ、平成20年3月末現在、41社の会員に加入いただいております。

【農業セミナーの開催】

平成20年1月21日、道銀アグリパートナーズの協力を得て農業生産者、農業関連業者の方々を対象に『上手な農業決算のポイント～新たな農業金融に向けて～』をテーマとした農業セミナーを開催いたしました。農業簿記や税制改正、金融機関がみる決算評価のポイント等について、農業経営アドバイザー(税理士)より具体例を交えた解説をいただきました。セミナーには道銀アグリパートナーズ会員を中心に53社90名の方々が出席され、活発な情報交換も行われました。



農業セミナー

【財団法人北海道農業企業化研究所との包括業務提携】

北海道銀行は、平成20年3月、農業者の支援組織である財団法人北海道農業企業化研究所(通称:HAL財団)と包括業務提携を行いました。





北海道銀行

北海道銀行は、北海道に根ざす一企業市民として、次代を担う子ども達への金融教育や芸術文化支援などの地域貢献活動に力を入れております。

金融教育

地域の将来を担う子ども達への職場体験学習や、高校生、大学生を対象としたインターンシップの実施、地元大学における金融関連講座への講師派遣等、金融経済知識の普及・啓発活動に積極的に取り組んでいます。

【こどものまちミニさっぽろ2007】

平成19年9月29日～30日、札幌市が主催する学習イベント『こどものまち「ミニさっぽろ2007」』が開催され総勢4,428名の子ども達が参加しました。北海道銀行は、地域金融機関として将来を担う子どもに対する経済教育に貢献することを目的に、「ミニほっかいどう銀行」の運営協力をいたしました。



こどものまち「ミニさっぽろ2007」

コンサートの主催

【チャリティコンサート】

平成20年2月15日、チャリティコンサート実行委員会（北海道銀行合唱団など4合唱団で構成）との共催で「チャリティコンサート」を開催いたしました。社会貢献の一環として、障がいをお持ちの方々をご招待したほか、入場料全額を社会福祉協議会に寄付いたしました。当日は、1,200名のお客さまにスクリーンミュージック「魅惑の宵」他、全18曲の歌声をご堪能いただきました。



チャリティコンサート

【第22回道銀ライラックコンサート】

道民の皆さまに、広くクラシック音楽に親しんでいただくために、毎年「道銀ライラックコンサート」を開催しております。平成20年5月14日に開催いたしました「第22回道銀ライラックコンサート」では、札幌コンサートホールKitaraに、1,800名をご招待し、外山啓介さんと札幌交響楽団によるクラシックの競演をお楽しみいただきました。



道銀ライラックコンサート

財団法人 道銀文化財団

北海道銀行では、創立40周年を記念して「北海道内の芸術文化の普及・振興に貢献する」ことを目的に平成3年3月、当財団を設立いたしました。「道銀芸術文化奨励賞」、「美術鑑賞会」など、北海道の文化の発展と豊かで潤いのある道民の生活の実現を目指しさまざまな活動に取り組んでいます。

【道銀芸術文化奨励賞】

道銀文化財団では、道内で活躍する優れた芸術家を顕彰する「道銀芸術文化奨励賞」を制定しております。平成19年度は美術部門の福井路可さん、音楽部門の外山啓介さんのお二人が受賞され、平成20年3月28日に「第17回道銀芸術文化奨励賞贈呈式」が執り行われました。外山さんには平成20年5月に開催されました「道銀ライラックコンサート」にもご出演いただきました。



贈呈式

【らいらっく・ぎゃらりい】

道銀文化財団が運営する北海道銀行本店ビル1階にあるギャラリーを開放し、若手芸術家や各種サークル活動等の成果発表の場としてご利用いただいております。皆さまに人気のスポットとなっております。

さっぽろライラックまつりへの協賛

北海道銀行では「札幌をライラックの花につつまれた美しい街に」との願いを込めて、昭和34年より毎年「さっぽろライラックまつり」に協賛しております。また、昭和50年からはライラックの苗木をプレゼントさせていただいております。皆さまのご家庭の庭木として親しまれています。

これまでにお配りした苗木は91,500本となり、今年も本店営業部の職員より札幌市民の皆さまに手渡されました。



ライラックまつり目録贈呈



ライラックの苗木プレゼント

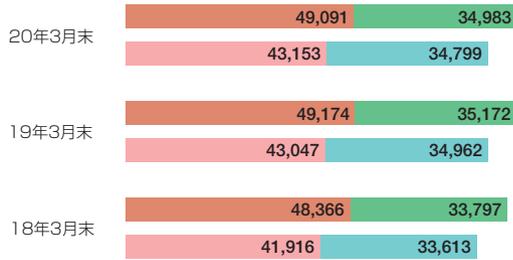
地域の預金・貸出金の状況

(注)『地域』とは、北陸銀行および北海道銀行の主要営業基盤地域である北陸三県(富山、石川、福井)および北海道を指します。

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域地域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

■ 地域の預金の状況

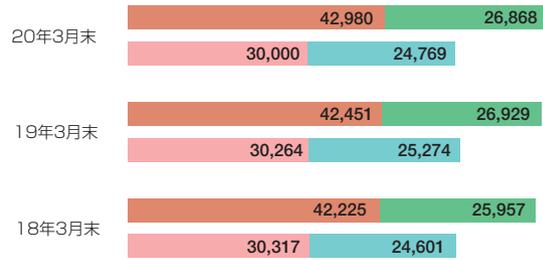
(億円)



■ 総預金(北陸銀行) ■ 総預金(北海道銀行)
■ うち地域の預金(北陸銀行) ■ うち地域の預金(北海道銀行)

■ 地域向け貸出金の状況

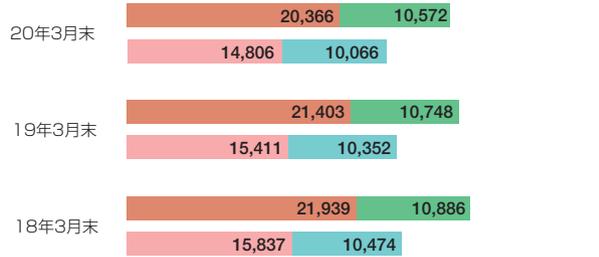
(億円)



■ 総貸出金(北陸銀行) ■ 総貸出金(北海道銀行)
■ うち地域向け貸出金(北陸銀行) ■ うち地域向け貸出金(北海道銀行)

■ 中小企業向け貸出金の状況

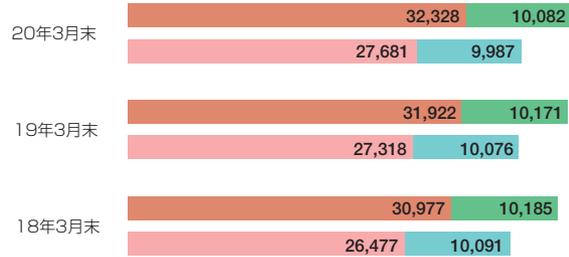
(億円)



■ 中小企業向け貸出金(北陸銀行) ■ 中小企業向け貸出金(北海道銀行)
■ うち地域の中小企業向け貸出金(北陸銀行) ■ うち地域の中小企業向け貸出金(北海道銀行)

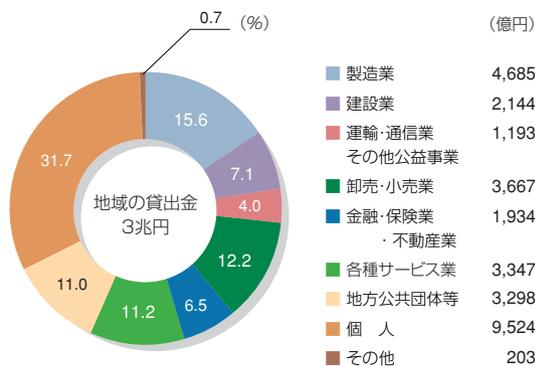
■ 中小企業向け貸出先数の状況

(先)

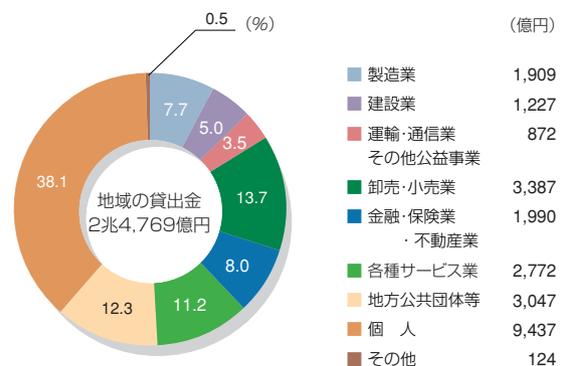


■ 中小企業向け貸出先数(北陸銀行) ■ 中小企業向け貸出先数(北海道銀行)
■ うち地域の中小企業向け貸出先数(北陸銀行) ■ うち地域の中小企業向け貸出先数(北海道銀行)

■ <北陸銀行>地域の業種別貸出残高(平成20年3月末)



■ <北海道銀行>地域の業種別貸出残高(平成20年3月末)



(注1) 北陸銀行には、分割子会社の計数を含んでおります。
(注2) 流動化した住宅ローンを含めた計数で記載しております。